

第1号様式（第11条、第13条、第14条関係）

事業者排出量削減計画書（新規・変更）

| | | | | | |
|--|--|--|----------------------------------|--------------------|---------|
| (あて先) 京都府知事 | | | | | |
| 住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） | | 氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名。記名押印又は署名） | | | |
| 千葉県市川市市川1-9-2 | | 株式会社デリーヤマザキ 田嶋 誠 代表取締役社長 電話 047 - 323 - 0602 | | | |
| 京都府地球温暖化対策条例第18条第1項（第18条第2項、第18条第3項）の規定により提出します。 | | | | | |
| 特定事業者の主たる業種 | 小売店のフランチャイズ事業を全国で行っており京都府下で41店舗の出店をしている | | | | |
| 該当する事業者要件 | <input checked="" type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第1号該当事業者（大規模エネルギー使用事業者（原油に換算して1,500キロリットル以上）） <input type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第2号又は第3号該当事業者（大規模運送事業者（トラック又はバス100台以上／タクシー150台以上／鉄道車両150両以上）） <input type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第4号該当事業者（その他の温室効果ガスの大規模排出事業者（二酸化炭素に換算して3,000トン以上）） | | | | |
| 計画期間 | 平成18年4月～平成20年3月 | | | | |
| 基本方針 | 全部門での環境マネジメントシステムの方針に基づき環境に負荷を与えるものに配慮して事業活動を行います。 | | | | |
| 推進体制 | 社長をトップに環境推進室による各委員会での実施計画の策定、四半期毎の進捗管理を推進する | | | | |
| 年度ごとの具体的な取組及び措置 | 年度 | 設備、対象、工程等 | 計画内容 | | |
| | 18～19 | 店舗 | 店舗の電気使用量を前年比1%削減する | | |
| | 18～19 | 店舗 | 新規出店時の設備は省エネ型を導入し電気使用量を15%/店削減する | | |
| | 18～19 | 店舗 | レジ袋購入前年比を売り上げ前年比に対し同数以下にする | | |
| | 18～19 | 店舗 | 店舗の廃油リサイクル導入率を80%以上にする | | |
| 18～19 | 地区事務所 | 営業車の燃費を12km/l以上を維持する | | | |
| 温室効果ガスの排出量等 | 排出区分 | 基準年度（実績） （17）年度 （二酸化炭素換算（t）） | 目標年度（計画） （19）年度 | 削減率 （計画） （%） | |
| | A 事業所等排出区分 | 2,594 t | 2,568 t | -1.0 % | |
| | B 輸送車両排出区分 | t | t | % | |
| | C その他排出区分 | t | t | % | |
| | 排出合計 | *1 2,594 t | *2 2,568 t | -1.0 % | |
| その他の地球温暖化対策による温室効果ガスの削減量等 | 対策等の区分 | 目標年度（計画） | | | |
| | | 取組量等 （二酸化炭素換算（t）） | | | |
| | 森林の保全及び整備 | （整備面積） | ha | （吸収量） | t |
| | 府内産の木材の利用 | （利用量） | m ³ | （削減量） | t |
| | 自然エネルギーを利用した電力又は熱の供給 | （売電量） | 925 kwh | （削減量） | 0.350 t |
| | | （熱供給量） | GJ | （削減量） | t |
| | グリーン電力の購入 | （購入量） | kwh | （削減量） | t |
| 削減量等合計 | | | *3 | t | |
| 差引排出量 （排出合計－削減等合計） | 基準年度（実績） | 目標年度（計画） | 削減率（計画） | | |
| | *1 2,594 t | (*)-(*)3 2,567.65 t | -1.0 % | | |
| 特記事項 | 1. 2001年に環境マネジメントシステム認証を取得し本部、全エリア、全店舗で環境活動を推進中 | | | | |
| | 2. 1990年を基準年度として店舗毎のエネルギー原単位（kwh/m ² ・h）を目標年2010年に20%削減に努める | | | | |
| | 3. グリーン購入手順書を策定し事務用品の購入比率を70%以上にする活動を推進中 | | | | |
| | 4. 地球環境に対する意識向上を図る為、全従事者に環境教育を実施 | | | | |
| | 5. 地域社会との調和を目指し、社会貢献活動としてラブローフ募金、店舗周辺の清掃活動を継続中 | | | | |
| 連絡先 | 担当部署 | | | | |
| | 担当者氏名 | | | | |
| | 住所 | | | | |
| | 電話番号 | | | | |
| | ファクシミリ番号 | | | | |

注 1 該当する口には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。

2 「基準年度」とは計画期間の前年度を、「目標年度」とは計画期間の最終年度をいいます。

3 「事業所等排出区分」とは、京都府内の事業所等の事業活動のためのエネルギーの使用に伴い発生する温室効果ガスを、「輸送車両排出区分」とは、自動車運送事業者については使用の本拠の位置を京都府内とする車両の排出する温室効果ガスを、鉄道事業者については保有する貨物車両又は旅客車両の排出する温室効果ガスを、「その他排出区分」とは、上記以外の京都府内における事業所等の事業活動に伴い発生する温室効果ガスをいいます。

4 「特記事項」には、平成2年度（1990年度）を基準とした排出量の対比やエネルギー原単位CO₂排出量、省エネ製品開発など他者の温室効果ガス排出削減への貢献、グリーン調達採用、特定フロンなどの条例指定外の温室効果ガスの削減などを記入してください。